



I 校長からの連絡

1 挿二小授業力スタンダード〈基本的指導過程〉20について

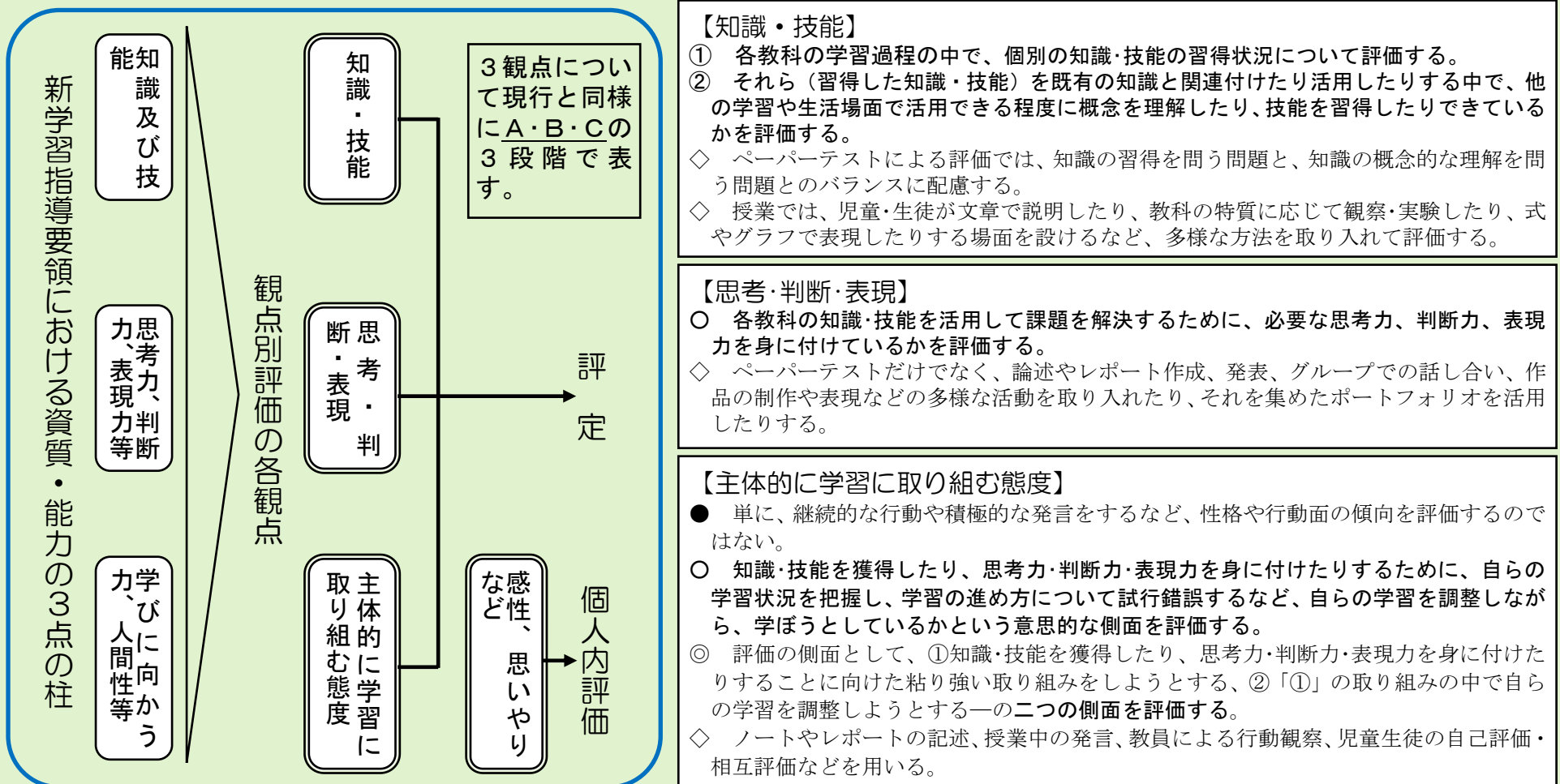
- ① 挿二小授業力スタンダード〈基本的指導過程〉20は、「挿二小の子供たちに確かな学力の定着と伸長を図る」ために、挿二小の先生方の素晴らしい授業から、また新学習指導要領における「主体的・対話的で深い学び」の視点から開発したものです。したがって、是非、授業終了後、挿二小スタンダード20項目から、自己評価し、授業改善を図るよう授業実践してください。
- ② 挿二小授業力スタンダード〈基本的指導過程〉20は、人事考課制度における授業観察の視点であり、校内研究内容ともリンクしています。
- ③ 自己申告「学習指導」に、挿二小授業力スタンダードについて位置付けてください。具体的には、「挿二小授業力スタンダード20について、7月までは〇〇%、12月までは、〇〇%、2月までは〇〇%を達成する。」というように、記述してください。  
20項目ですので、10項目で50%、12項目で60%、14項目で70%、16項目で80%となります。目標設定は自己の授業力を評価し、自ら設定してください。

2 挿二小学級力スタンダード10について

挿二小ワーク⇒平成31年度⇒特別活動⇒学級力フォルダに、アンケート、集計表、グラフが一式あります。

- (1) 目的
  - ① 学級集団や児童一人一人の生活をよりよくするために、課題把握・話し合い・合意形成・意思決定・協働実践できる資質・能力を育成する。
  - ② 学習や生活の基盤として、教師と児童との信頼関係及び児童相互のよりよい人間関係を育てるための学級経営力の向上を図る。
- (2) 具体的展開
  - ① 児童一人一人が自らの学級を10項目から自己評価をする。(1・2年、3～6年生用)「アンケートに記入する。」〈5月・7月・12月・2月の4回実施 PDCA サイクル化〉
  - ② 評価結果を集計表に付加し、グラフに反映させ、教室に掲示する。(いつでも、児童が見られるようにする。意識化を図る。)
  - ③ グラフを基に児童一人一人が学級のよさや課題を把握する。
  - ④ 学級で、グラフを基に、よさをさらに伸ばすため・課題を解決するための改善策について話し合う。
  - ⑤ 児童一人ひとりが協力して、改善策を学級で協働実践する。
- (3) 人事考課における自己申告に位置付ける
  - 10項目の中から、学級の実態分析を踏まえ、重点項目2項目を選定し、自己申告書「特別活動」に位置付ける。具体的には、選定した2項目について「7月までは〇〇%、12月までは、〇〇%、2月までは〇〇%を達成する。」と記述してください。

III 確かな学力の定着と伸長 ～児童・生徒の学習評価～2018.12.8.『児童生徒の学習評価の在り方について』論点整理案より



IV 4・5・6月の学年・学級・専科経営上の課題

- 1 授業（学習）・生活規律の確保
  - 時間はかかっても、この時期に授業規律・生活規律を確保することは、1年間の学びや学校生活の礎となります。一方的に押し付けるのではなく、合意形成のもと確実に定着を図ってください。
- 2 学級目標の確認
  - 先日の全校朝会で、「学級の目標の実現に向けて、力を合わせて取り組んでいますか」という質問に、挙手した児童がわずかでした。もう一度、学級目標の確認、学級目標の意義・意味付けをしっかりと行ってください。
- ※5月中に「挿二小学級力スタンダード10」に取り組んでください。
- 3 学年会の充実・発展
  - 学年・学級・専科経営上の課題及び、各教科・単元のアウトライン（おおよその指導方法・教材等）の共通理解を図り、実践するとともに、実践後の情報共有を行ってください。
- 4 服務規律の徹底
  - 令和元年5月8日現在（都全体）
  - (1) 「個人情報の紛失・流出」39.3%
  - (2) 「体罰」24.2%
  - (3) 「交通事故」21.2%
  - (4) 「ワイセツ等」15.1%

・個人情報の紛失案件：